

# SCOUTING

スカウティング

Scout Association of Japan [www.scout.or.jp](http://www.scout.or.jp)  
平成19年5月1日発行 毎月1回1日発行 第648号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

NO.648 2007/5



富士章受章スカウト代表表敬

- 23 WSJを日本へ！ 招致会場は山口県きらら浜
- 平成19年度事業計画
- 富士章受章おめでとう



財団法人

ボーイスカウト日本連盟



23rd  
WORLD SCOUT  
JAMBOREE  
MONDIAL  
2015  
JAPAN



# 第23回世界スカウトジャンボリーを日本へ!!

## 2015年の日本招致会場は 山口県きらら浜

本誌昨年12月号でご紹介した第23回世界スカウトジャンボリー（以下23WSJ）の日本招致活動。3月28日に開催された理事会において、23WSJ日本招致会場は山口県に決定しました。山口宇部空港から車で15分ほど山口市街地方向へ進んだ山口市阿知須（あじす）にある海沿いの干拓地「きらら浜」がその会場です。きらら浜は東西に約1km、南北におよそ3kmもの距離がある広大な敷地。今回はきらら浜の概要と、その他山口県全域の様々な姿をご紹介します。



きらら浜全域を上空から 左手の白いドーム周辺がきらら博記念公園。右下の大きめの一角が自然観察公園。



### ◆車でのアクセス

- ◇広島方面より  
山陽自動車道山口南 I.C から 15 分
- ◇福岡方面より  
山陽自動車道宇部下関線  
由山口宇部有料道路阿知須  
I.C から 5 分

### ◆公共交通機関からのアクセス

- 山口宇部空港から車で15分
- JR山陽新幹線新山口駅から車で10分
- JR宇部線阿知須駅から徒歩15分

3月号での松野県連盟コミッショナーからのご寄稿にもあったように、3方海に面した緑多いこの「きらら浜」は、多くの拠点からのアクセスも良好なロケーションに位置します。夏期は瀬戸内海式気候で晴天が多く、暑い日もあります。常時海風が通るさわやかな気候です。

23WSJのプレ大会としての意味も含まれる第16回日本ジャンボリー会場としても、大いに魅力的です。

この「きらら浜」は、「山口きらら博記念公園（きららスポーツ交流公園よりこの春改名）」と、「きらら浜自然観察公園」の2つの主要施設を持ち、残った部分は未使用の平坦な草原。全域でおおよそ286ヘクタールもの広さとなります。

2つの主要施設をそれぞれ見てみましょう。





きらら博記念公園の全景 左手の白くぼんだところが「月の海」。平成22年には屋内水泳プールも完成予定。

多目的ドーム外観・内観 記念公園の中心地。事務所などもこの中にある。そばに寄るほどに驚く大きさ。



## 山口きらら博記念公園

<http://www.kirara-memorial-park.jp/>

平成13年7月から9月にかけて実施された「山口きらら博」。期間中251万人、1日最大10万人が来場したというこの博覧会の会場跡を、



トリムの広場 綱渡りやネットなど遊具がいっぱいの広場。休日は子どもたちで賑わう。クライミングウォールもある。

「だれもが気軽にスポーツに親しみながら健康づくりができ、レクリエーションなどを楽しみながら交流できる運動公園」として整備。翌平成14年に開園されました。

公園内には東京ドームと同等のグラウンド面積を持つ「多目的ドーム」をはじめ、「サッカーラグビー場」、「スポーツ広場」、「月の海」、「太陽の丘」、「トリムの広場」などの施設が設けられています。

週末にはスポーツや野外活動、各種展示会などのイベントが開催され、また夏期には「月の海」が海水浴場としても開放され、大勢の来場者で賑わうこの公園。ジャンボリー会場としても、集会やプログラムなどの多様な展開が期待されます。



月の海 夏場は海水浴場に。魚つかみどりなどのイベントも。



自然観察公園の外観 きらら浜で最も緑深いエリア。中央がビジターセンター。

## きらら浜自然観察公園

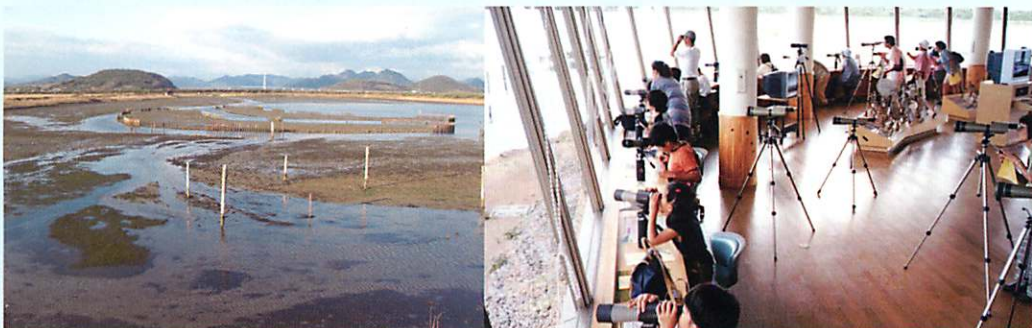
<http://www6.ocn.ne.jp/~kirara-h/>

昭和22年からの干拓、その後の再埋め立てを経てできたきらら浜。環境先進県でもある山口県は、その一角を以前の湿地に戻しながら、瀬戸内海の人と自然との共生を進めるいわば自然の実験場のようなフィールドとして、この自然観察公園を平成13年に開園しました。

きらら浜のある阿知須は、「アジガモ（トモエガモの古名）が巣に群れる場所」をその名の由来としています。この公園を湿地に戻す以前から、トモエガモのほか多くの野鳥が飛来する場所でしたが、昔からの自然に近づくにしたがって次第にその数も増え、今では全国から多くの野鳥ファンが集う絶好の観察フィールドとして人気を博しています。



シーズンによってはカワセミも現れる。



バードウォッチング ビジターセンターの観察ホールから、干潟も見える。備え付けの望遠鏡で、多様な野鳥が観察できる。

一度人間が加工してしまった土地を、元々あった自然に戻していくという試みは世界的にも珍しく、その先進的な成功例として、世界にアピールできる会場です。もちろん、野鳥観察を始めとする環境関係プログラムの展開が期待されます。

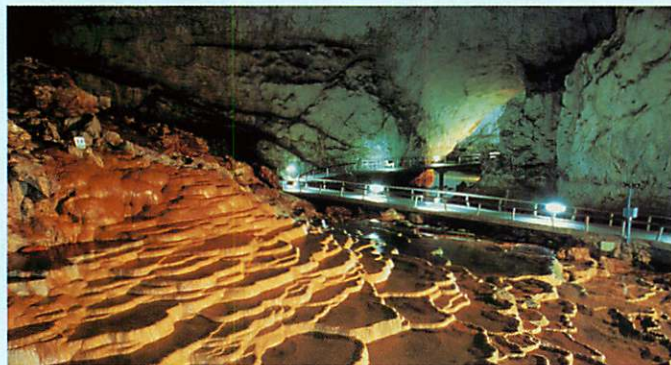




秋吉台 日本最大のカルスト台地。ここでもジャンボリーができるのでは?と思わせる広大な眺め。



瑠璃光寺五重塔 1442年に建立された国宝。山口市内の県庁から至近で、背後の山も含めた景観がすばらしい。



秋芳洞 東洋屈指の大鍾乳洞。別の惑星に来たかのような不思議な世界。



錦帯橋 日本三名橋の筆頭。美しい5連のアーチは当時の技術力ばかりでなく構造の力学的評価も高い。



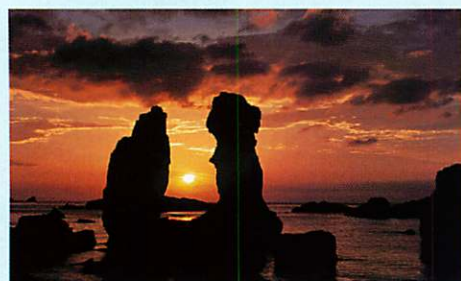
夏には瀬戸内海の各地で盛大な花火大会も催される。

## 山口県の様々な拡がり

本州の西端、3方が海に開かれた山口県。海、川、山、岩山と様々な美しい自然が豊かであることはもちろん、「西の京都」ともいわれるように歴史的遺産や「萩焼」に代表される伝統工芸なども数多く、いわば古くからの日本の魅力が詰まった場所です。

また、「瀬戸内工業地域」として古くから工業の発達したこの地は、近年では情報通信・環境・福祉・医療・生活文化関連等の新産業も発展しており、近代の新しい日本の特徴と前述の自然・伝統とが間近となりあっています。

ジャンボリー会場から1時間圏内、2時間圏内まで足を伸ばせばそのほとんどにアクセスできる山口県。ジャンボリーに集う世界各地のスカウトに「日本の多様な魅力」を体験してもらおうことができるというわけです。



青海島 日本海に沈む夕日。



SLやまぐち号「貴婦人」の愛称で親しまれるC571。新山口・津和野間の2時間の旅が楽しめる。



象徴的な瀬戸内海側の眺め。住宅地、市街地、工場群のむこうに瀬戸内海とそこに浮かぶ島々が見える。

「普段の生活から海へ山へとすぐにいるんな活動に出かけられる。職住接近じゃなくて、職・住・遊接近ですよ」と山口の魅力を語ってくださったのは、山口県連盟の磯部副理事長。まさにジャンボリーの生活から多様な場外プログラムという展開が目につかぶ立地といえるでしょう。

第16回日本ジャンボリーに続く、2015年の第23回世界スカウトジャンボリー。ぜひ世界の仲間たちとこの地の魅力を大いに味わいたいものですね。

(23WSJの開催地は2008年7月開催の世界スカウト会議で決定されます)





# 平成19年度事業計画

## 《事業方針策定にあたって》

平成19年度は、平成17年度から2か年度にわたる最重点目標「スカウト運動の基本を大切に加盟員数を拡大する」を受けて理事会の下に設置された「スカウト運動推進委員会」を中心に、理事会、教育本部が様々な観点から協議検討してきた結果を具体的な事業として実行に移す年です。

また、平成19年度（2007）は、世界スカウト運動創始100周年の年でもあり、国内での各種記念事業をはじめ、第21回世界スカウトジャンボリーがイギリスで、第22回アジア太平洋地域会議が日本で開催されるなど、大規模な国際的事業が集中していることも特徴となっています。このように国際性に富んだスカウト運動であることを社会にアピールできる絶好の機会を効果的に活用し、加盟員数の拡大に向けて挑戦していきます。

## 《スカウト運動の展望》

日本のスカウト運動は、青少年教育の中心的役割を果たす存在を目指す。

～日本連盟長期戦略計画より～

## 《スカウト運動の使命》

個人の資質を伸ばし、地域社会や国際社会に役立つ青少年を育てる。

～日本連盟長期戦略計画より～

## 《基本方針》

より良いスカウティングを より多くの青少年に！

## 《重点目標》

スカウト運動の基本を大切に 加盟員数を拡大する

～世界スカウト運動創始100周年を契機に～

## 《重点事業》

1. スカウト教育法を十分に活用した活動を展開する
2. 団に関わる指導者の養成を図る
3. スカウト活動の国際化を図る
4. 新規加盟員を獲得し、中途退団者を抑止する
5. 情報提供機能を向上し広報活動を充実する
6. 財政基盤の強化を図る



## 《重点事業》

1. スカウト教育法を十分に活用した活動を展開する
  - ①カブとボーイの「部門間プログラム」実施の徹底
  - ②ボーイ部門の「長期キャンプ」実施の提唱
  - ③ボーイとベンチャー部門再編成についての研究
  - ④ローバー年代を対象とする全国組織の設立
2. 団に関わる指導者の養成を図る
  - ①指導者訓練体系の再構築と新指導者訓練制度の確立
  - ②全国の指導者の自己研修の場となる世界スカウト運動創始100周年記念全国大会の開催
3. スカウト活動の国際化を図る
  - ①100周年記念大会第21回世界スカウトジャンボリーへの参加
  - ②第22回アジア太平洋地域スカウト会議等関連行事の日本開催
  - ③スカウト運動の国際性を実感させる2015年開催の第23回世界スカウトジャンボリー日本招致
4. 新規加盟員を獲得し、中途退団者を抑止する
  - ①団や県連盟における「新アクションプラン」の推進
  - ②「子どもの居場所づくり」の実践経験を基礎に加盟登録を考慮した「遊び仲間集団」の設立
5. 情報提供機能を向上し広報活動を充実する
  - ①ホームページやメール等電子媒体による情報提供機能の向上
  - ②保護者に向けてのPR促進
  - ③スカウティング誌全員購読を目指した試行
6. 財政基盤の強化を図る
  - ①企業や諸団体との協賛事業を策定した新たな収益を確保

## 《世界スカウト運動創始100周年記念事業》

- ◆スカウトを対象とする事業
  - ・第21回世界スカウトジャンボリーへの参加
  - ・ギフト・フォー・ピース Gifts for Peace
  - ・富士チャレンジキャンプ
- ◆成人・指導者を対象とする事業
  - ・スカウト運動創始100周年記念レセプション
- ◆すべての加盟員を対象とする事業
  - ・ステップアップ100運動
  - ・ベーデン・パウエル著作図書の翻訳出版
  - ・県連盟(地区)・団による独自の記念事業展開の奨励
  - ・その他世界スカウト機構が提唱する関連事業の実施

## 《一般事業》

### 【A. スカウト関連事業】

1. 青少年プログラムの充実
  - (1) 現行部門プログラム支援
  - (2) 障害児スカウティング支援
  - (3) スカウト活動における安全確保・推進
  - (4) 宗教関係代表者会議
  - (5) 各種調査の実施
  - (6) 「子どもゆめ基金」の活用

### 2. 国内事業の実施

- (1) 環境美化の推進(スカウトの日)
- (2) 富士章受章スカウト顕彰
- (3) 富士章受章スカウト代表表敬
- (4) 全国ユースフォーラム
- (5) 平成19年度日韓スカウトフォーラム、日米スカウトフォーラムの開催
- (6) 第50回ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)・第11回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)

### 3. 国際関係事業の実施

- (1) 国際協力プロジェクト
- (2) 海外各種大会への派遣
- (3) 個人による海外派遣
- (4) 海外スカウト受入事業

### 4. 各種大会開催のための準備

- (1) 第10回日本アグーナリー(10NA)実行委員会の開催
- (2) 第7回ベンチャースカウト大会(7NV)準備委員会の開催
- (3) 第15回日本ジャンボリー(15NJ)の準備

### 【B. 指導者関連事業】

#### 1. 指導者の養成

- (1) 各種指導者訓練コースの開設
- (2) 新訓練制度の周知
- (3) トレーニングチームの充実
- (4) 団運営者研修の強化
- (5) 各種団体・諸機関の成人指導者間の人材交流事業
- (6) 自然体験活動指導者の養成

#### 2. 研究事業

- (1) 指導者海外研修派遣
- (2) スカウト運動の成人に関する方針普及ツール開発
- (3) 青少年教育人材バンクの設置の研究事業

### 【C. 普及広報関連事業】

#### 1. 機関誌の発行

#### 2. スカウト運動の普及促進

- (1) 普及広報活動
- (2) 全国組織拡充セミナー
- (3) 組織拡充顕彰

### 【D. 運営事業】

#### 1. 運営のための取り組み

- (1) 各種会議の開催
- (2) スカウト用品の販売促進
- (3) 傷害共済制度の運用
- (4) 登録事務処理の円滑化とシステムの改善
- (5) 書籍の発行
- (6) 各施設の整備拡充
- (7) 公益法人改革にむけた準備
- (8) 事務局業務IT化の推進

#### 2. 世界スカウト機構、アジア太平洋地域等との関係強化

#### 3. 各種機関・団体との連携

※平成19年度事業計画には、以上の各項目にそれぞれ詳細の説明が加えられています。詳細は日本連盟ホームページをご覧ください。



# 平成19年度・20年度日本連盟教育本部の構成

教育本部の新しい構成員が決まりました。以下敬称略でご紹介します。

教育本部コミッショナー 井上 保(東京)

教育本部副コミッショナー 清水 利英(山梨)

教育本部副コミッショナー 山田 明良(兵庫)

<以下教育本部委員>

上道小太郎(大阪) プログラム委員会委員長

戸部 惠一(埼玉) トレーニング委員会委員長

西村 伸次(京都) 組織拡充委員会委員長

有野 廣(東京) 広報委員会委員長

豊秀 昌彦(宮崎)※1 安全委員会委員長

時 信治(滋賀)※2 イベント委員会委員長

檀上 善夫(愛知) 国際委員会委員長

高橋 直克(北海道)※

黒崎 博孝(栃木)※

井上 法英(新潟)※

矢吹 了一(高知)※

西田 弘展(広島)

※印はブロック選出委員 6人 (※1は九州・沖縄ブロック、2は近畿ブロック選出委員)  
この他全国選出による委員4人が教育本部委員に加わる予定です。

正副教育本部コミッショナーと教育本部委員により「教育本部会議」が構成されますが、この教育本部会議には以下の方々が参席します。

<参席者>

●副理事長 古賀 正一

●常務理事 上島真一郎

新藤 信夫

●アジア太平洋委員会委員

小栗 宏次(愛知)

●県連盟コミッショナー会議からの選出者

山内 直元 代表幹事(関東ブロック=東京)

芳山 憲祐 幹事(九州・沖縄ブロック=大分)

●第10回日本アグーナリー実行委員長

西村 稔(石川)

●事務局長 金井 昭二

●その他、教育本部コミッショナーが必要と認められた者

全国選出委員、各常設委員会の構成員等は7月号でご紹介の予定です。



# 平成19年度 事業計画表



今後変更されることがあります。  
(平成19年3月31日現在)




※世界スカウト平和の日  
毎年9月の第3火曜日は、国連が定めた国際平和デーです。1990年の第32回世界スカウト会議は、この日を各国のスカウトが平和に向けての活動を行う日と決議しました。

| 月  | 諸会議   |  |
|----|---|--|
|    | 理事会・評議員会  | 教育本部   |
| 4  |   | 教育本部コミッショナー会議(7)<br>教育本部常任会議(7~8)                    |
| 5  | 評議員会(17)<br>理事会(22)   | 第1回常設委員会(12~13)<br>教育本部会議(13)<br>第1回県連盟コミッショナー会議(25) |
| 6  |   | 教育本部常任会議(10)   |
| 7  | 中央名誉会議(1)   | 教育本部コミッショナー会議(7)                                     |
| 8  |  | 第2回常設委員会(25~26)<br>教育本部会議(26)                        |
| 9  |   | 教育本部常任会議(15~16)                                      |
| 10 | 評議員会(21)  | 教育本部コミッショナー会議(20)<br>第2回県連盟コミッショナー会議(20~21)          |
| 11 | 理事会(1)  | 第3回常設委員会(10~11)<br>教育本部会議(11)<br>全国事務局長会議(24~25)     |
| 12 |   | 教育本部常任会議(8~9)  |
| 1  | 臨時評議員会(26)<br>臨時理事会(31)   | 教育本部コミッショナー会議(19)<br>第3回県連盟コミッショナー会議(19~20)          |
| 2  |   | 第4回常設委員会(16~17)<br>教育本部会議(17)                        |
| 3  | 評議員会(13)<br>中央名誉会議(23)<br>理事会(27)   | 教育本部常任会議(16)   |

|                  |   |  |
|------------------|---|--|
| 委<br>員<br>会<br>等 | 常任理事会<br>財務委員会<br>第22回 APR スカウト会議実行委員会<br>第23回世界スカウトジャンボリー日本招致委員会<br>政策委員会<br>世界スカウト運動100周年記念事業推進委員会<br>傷害共済運営委員会<br>中央名誉会議 | プログラム委員会<br>トレーニング委員会<br>組織拡充委員会<br>広報委員会<br>安全委員会<br>イベント委員会<br>国際委員会 |
|                  |   |  |



| 月  | スカウト対象事業  | 指導者対象事業  |
|----|---|--|
| 4  |    | 21WSJ派遣団長会議(1~2 イギリス)<br>第22回APR会議・準備会議(12~13 NYC)<br>第5回APRスカウトユースフォーラム計画委員会(13 NYC)<br>APRスカウト委員会(14~15 NYC)<br>APRプログラム小委員会(16 NYC) |
| 5  |   | ヨーロッパ地域スカウト会議(5~11 スロベニア 23WSJ招致活動)<br>全国大会(25~27 NYC)<br>アメリカ連盟総会(5/30~6/3 アトランタ 23WSJ招致活動)   |
| 6  | ユースフォーラム(9~10)<br>カンデルスティッチ夏季野営スタッフ派遣(~9月)<br>国際キャンブスタッフ計画派遣(~8月)   |  |
| 7  | スカウト・オーストラリア短期留学(学習旅行)派遣(7月~8月)<br>スカウト特別海外派遣(個人プロジェクトによる)<br>フィルモント派遣(クルーによる・本年度は沖縄隊を派遣)<br>第21回世界スカウトジャンボリー派遣(IST 7/23-8/12)<br>第21回世界スカウトジャンボリー派遣(参加隊・本部員 7/24-8/12) | 指導者導入研修スタッフ研修(15~16、21~22)   |
| 8  | 世界スカウト創始100周年記念サンライズセレモニー(1)<br>第4回APRエア・インターネットジャンボリー(4~5)<br>富士チャレンジキャンプ(14~20)<br>CJKプロジェクト派遣(8月下旬・調整中)  |  |
| 9  | スカウトの日(17)<br>世界スカウト平和の日(18)  | ユーラシア地域スカウト会議(開催日程未定 モスクワ<br>23WSJ招致活動)<br>アフリカ地域スカウト会議(3~7 ルワンダ 23WSJ招致活動)  |
| 10 | 海外スカウト受入計画(11~24)<br>第5回APRスカウトユースフォーラム(12~15)<br>第50回JOTA(20~21)<br>第11回JOTI(20~21)  | APR コース・フォー・リーダートレーナー(10~16 NYC)<br>第22回アジア太平洋地域スカウト会議(18~23 NYC)<br>自然体験案内人講座(26~28)  |
| 11 |   | アラブ地域スカウト会議(1~6 リビア 23WSJ招致活動)<br>インターアメリカ地域スカウト会議(24~28 エクアドル<br>23WSJ招致活動)<br>自然体験案内人講座(16~18)                                       |
| 12 | 第18回ニュージーランドジャンボリー派遣(12/22-1/8)<br>韓日フォーラム派遣(12/27-1/3)<br>第19回オーストラリアムート派遣(12/27-1/14)   | 隊指導者研修改訂説明会(1~2)<br>全国組織拡充セミナー(開催時期、内容等未定)   |
| 1  | 日韓スカウト交歓計画(12~21)<br>日韓スカウトフォーラム(12~14)   | WB実修所 所長・主任会議(26~27)   |
| 2  | 日米スカウト交歓計画(2~11)<br>日米スカウトフォーラム(2~4)<br>アジア太平洋提携プロジェクト(バングラデシュ)派遣(2/20~3/9)<br>世界友情の日(22)   | トレーナー研究集会(2/9~3/4 この間各地で開催)<br>トレーナー選考委員会(23)  |
| 3  | ネパールプロジェクト派遣(3月実施調整中)<br>富士章受章スカウト顕彰<br>富士章受章スカウト代表表敬   | 新任副リーダートレーナー研修会(9)   |

日米・日韓スカウト交歓計画実行委員会  
第21回世界スカウトジャンボリー派遣実行委員会  
第10回日本アグーナリー実行委員会

全国大会実行委員会  
.....  
指導者講習会(336回)  
WB 研修所(85回)  
団運営研修所(17回)  
コミッショナー研修所(7回)  
WB実修所(BVS1回、CS3回、BS3回、VS1回)  
コミッショナー実修所(1回)  
CLT(APR主催)  
ALTC(1回)



# 能登半島地震 復興支援活動報告

3月25日、日本海で発生した能登半島地震。最大震度6強が記録され、大きな被害が能登半島に広がりました。

ボーイスカウト石川県連盟は即日、関係者の被害確認やボランティアの派遣、県連盟災害派遣本部の設置など対応を開始。27日には西村理事長と事務局長、緊急災害支援チーム2人の計4人が現地に入り、被災地の視察および能登地区内の各団訪問を行いました。28日からは内田県連盟コミッショナーをチーフとした緊急災害支援チームボランティア派遣の継続を決め、31日には現地災害対策本部を設置し、以後他県からのボランティア受け入れ、サポート等に奔走されました。

なお、同県内のスカウト関係者に被害はなく、また昨年（2011年）の第14回日本ジャンボリーでお世話になった珠洲市も被害の規模は小さかったとのことでした。

石川県連盟では連日大変多くの方々（約1000名）が被災地でのボランティア活動を行い、また他県からも多くの方々（約1000名）が駆けつけられました。今月号では、京都から復興支援ボランティアのレポートをいただきましたので、ご紹介します。

## 復興支援活動の難しさを学びました

京都連盟 社会参加特別委員長 吉川敬一



京都連盟から4人のメンバーで4月6日（金）～8日（日）、輪島に置かれた石川県連盟の災害支援本部へお手伝いに行ってきました。

現地に入ると、ま

ず広域に広がる被災地での情報収集や、日帰りの多い一般ボランティアの方々の統制など、災害支援活動の難しさを感じました。しかし石



川県連盟は野田事務局長が現地にて泊まりこみ、常駐スタッフを置いて関係機関との調整を行いながら全体の指揮をとっておられ、効率の良いボランティア活動を展開されていました。またガールスカウト石川県支部との連携も良好で、日頃の友好関係の賜物と感じました。

6日（金）は一番被害の大きかった諸岡地区にて、手弁当で参加されている100人ほどの一般のボランティアの方々と一緒に、ゴミの集積場所での分別などのお手伝いをしました。

7日（土）は、BS石川県連盟・GS石川県支部との合同で、朝からスカウト関係者およそ60人が金沢方面から集まり、6日とは別のエリアで奉仕活動をしました。連携の良さや若い人の動員力のすごさに感じました。

8日（日）は同じくスカウト関係者およそ100人が集まり、若い人が目立ちました。また前日とは異なる

場所で、ゴミの分別作業を行いました。

2泊3日の活動の中で感じたことの一つは、コーディネーターの重要性です。ボランティアは善意でお手伝いを申し出ますが、被災された方々には様々な感情や不安もあり、必ずしも歓迎されるわけではありません。その架け橋となるコーディネーターの動きが大変重要です。2日目にお世話になったエリアの市議員の方は昼夜を問わずボランティアと被災者の橋渡しに駆け回っておられました。



また石川県連盟ではボランティア参加者にお揃いのオレンジ色のジャンパーを用意。皆で着用して活動していたのですが、このおかげで地域住民の方からは「安心してボランティアを

お願いできる」との声をいただいたそうです。特にBS・GSには日頃の活動からのご理解もあり、識別服は重要だと感じました。

他にも諸々ありますが、あわただしい3日間のなか、復興支援ボランティアについての大変良い勉強をさせていただきました。お世話になりました石川県連盟の皆様にお礼を申し上げて報告を終えます。ありがとうございました。





## 隊活動のヒント

キーワード：クラフト、創造、いつでも、戸外ならどこでも

|          |  |
|----------|--|
| アクティビティ名 | くるくるたこコプター   |
| ねらい      | 「たこ」にも様々な種類があることを知る。<br>自分で工夫して作ったたこで楽しく遊ぶ。  |
| 内容       | 画用紙を円く切り、サイドを張り合わせて仕上げ、走って遊ぶ。  |
| 指導上のポイント | 2本の切り込み線を入れる時、切りすぎに注意すること。また、円の大きさは20～23cm ぐらいがよい（このたこは走りながら遊ぶので、切り過ぎたり円を大きくしすぎると、回すために必要な風く回転>を得ることができません）。 |
| 準備物      | 画用紙、はさみ、お皿、マジック、ひも（たこ糸・リボン等）1m、セロハンテープ   |

## 大阪第136団ビーバー隊長 富増 茜

隊長：さて、これなーんだ？

スカウト：まる！！

隊長：うん、まるだね。これは、「くるくるたこコプター」っていうんだ。

スカウト：「たこ」？こんなに丸くて紐も短いのに。

隊長：この「たこ」は、空には飛ばないんだ。走って飛ばすんだ。じゃあ、さっそく作ってみよう。

スカウト：隊長、くるくる回る。

スカウト：僕のは上手に回らないよ～。

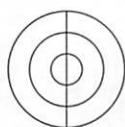
スカウト：私のは、きれいな模様が出来たよ。

隊長：みんな上手にできたね。回りにくいのは、ちょっと「たこ」が大きいからかな。少し工夫すると、いろいろできるね。じゃあ、誰のが1番くるくる回るか競争だ！！

<備考>・円を大きくしすぎると、子どもの走る速さでは回らないことがあります。その時は、リーダーの足の速さのみせどころです。

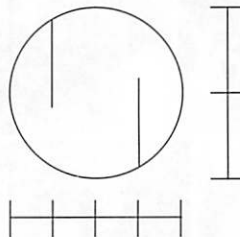
・あまり糸が長くても回らないので、スカウトに合わせて調整をしてください。

・絵でもいいですが、右の図のように色を少しずつ変えてみるのも面白いかもしれません。



## 進め方

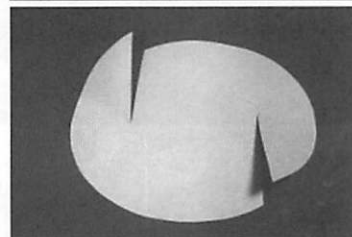
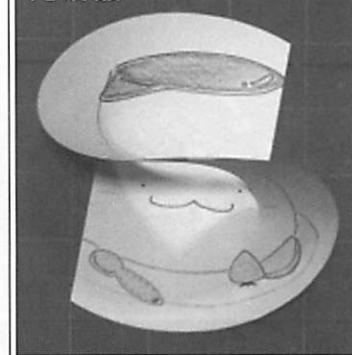
- ①画用紙に円を描く。  
(お皿などを使い、大きさを調整する)
- ②円の中に絵を描いたり色を塗ったりする。
- ③画用紙を円く切る。
- ④2本の切り込み線を入れる1/4の間隔で、半分+2cm ぐらいまっすぐ切る。



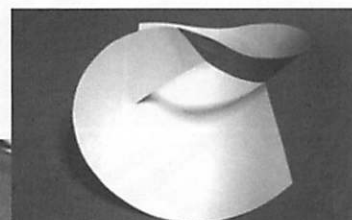
⑤切った先を重ねてセロハンテープでとめる。

⑥1mほどのひもでくくりセロハンテープでとめる。

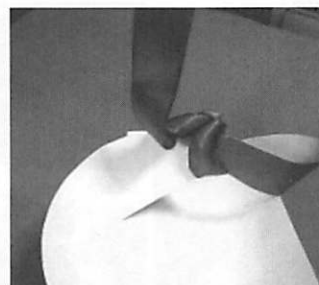
## 完成品



進め方④「半分+2cm」を切ったところです。本来、白い面に絵が描かれています。



進め方⑥セロハンテープでとめたところです。白い面同士を貼り合わせます。



進め方⑥ひもでくくったところです。今回はリボンを使用。進め方⑤で貼り合せた箇所をくくります。その後、セロハンテープで固定します。

株式会社「かんたん手づくりおもちゃチャイルドランド」より



## ★ アクティビティ大募集 ★

このコーナーでは、皆さんが隊で実践したプログラムやアクティビティを募集しています。スカウティング編集部「隊活動ヒント・アクティビティ係」まで、どしどしお寄せください。また、編集部と共同でアクティビティを実践してくださる隊も募集いたします。皆さん、ふるってご応募ください！（目次頁下段の宛先まで）



# 活動自慢



## コンテスト

### 活動自慢コンテストとは

各隊のスカウト活動の良いところを積極的に評価し、それを日本連盟、県連盟、また他の隊でのプログラム開発、スカウティングの参考にしてもらうことを主な目的とする。プロジェクト全体を対象とする「マジ自慢部門」と、プロジェクト内の一つの活動を対象に評価する「プチ部門」の二つを募集。



# 作品介绍 その6 プチ部門 銀賞作品

今回は首都圏のローバース有志により実施された、上野恩賜公園の花見シーズンにあわせた「餅つき」プロジェクトをご紹介します。仲間のニーズから始まって、大勢の周りの人々を楽しませたその発展に拍手！

## タイトル 花より餅

アピールポイント

新年度を迎えるにあたりユース年代のスカウトたちが、一般の方々とよりよいコミュニケーションが取れるようにお花見を行いました。

場所は人通りが多い東京の上野公園。ただのお花見では魅力がないと感じ、餅つきをプログラムに加えました。

前日から仕込みをして、杵と臼を準備し、本格的に餅をついて食べました。

通りがかった外国人の観光客や、小さな子どもたちにも餅つきの体験をしてもらうことによって、日本の伝統的な文化にも触れ、桜が舞い散る中、とてもよいコミュニケーションができました。

普段の隊の活動などと違ってガールスカウトや一般の方たちと触れることによって、来年度も一年がんばってこう、という勇気がわきました。

### <ユース特別委員会コメント>

この作品のポイントは、日本の文化である餅つきを通りがかりの外国人や観光客の人に体験させている点がとても良いと思います。企画書や報告書が添付されていないのが残念ですが、数多くの写真が活動を十分伝えてくれるものとなっています。このような地域の人々を巻き込んだ活動はこれからのスカウティングの一つの手本になると思います。



### <応募者からのコメント>

春は新生活の始まりで、進学、就職などで地方で活動していたスカウトが多く首都圏に集まります。進学先や居住地付近にローバース隊や地域団があれば参加することも可能ですが、現実的には移籍をするスカウトは稀で、この運動から離れてしまう一因になっています。

都会で新生活を送るスカウト仲間が気軽に集まれる場があればいいなという、当時大学1年生になる関東在住のスカウトの発意により、2005年春に初めて上野

恩賜公園の満開の桜の木の下に同年代のスカウトが約25人集い、スカウトムート2005をはじめとする各種活動紹介、広報活動を行いました。

2006年4月1日、活動紹介や広報活動という内向きな内容だけではなく、その場にいるすべての人とこの和をわかち合えるようにと考え、お祝い事という観点も含め餅つきを実施しました。数人のローバースカウトが企画、意思決定を行い、地元支援者を得て満開の桜と

暖かい日差しの中、計41人の参加者全員で運営し、自分たちも楽しみ、たくさんの方にも喜んでいただけたのではないかと思います。

お花見は、平安時代からある日本の象徴的な文化の一つです。プログラムパッケージ自体はどこでも実施できることですが、人が集まる場所でインパクトのある活動を行い、他の方々とともに楽しむということを実施できたことは、すばらしいです。







# 信仰奨励章取得のための手引き - 1 -

4月号で紹介した「信仰奨励章」について、隊活動への導入方法やその考え方など、4回にわたり解説していきます（その間、「隊長への手紙」はお休みします）。なお本連載は後日関連資料などを加えた冊子として発行される予定です。

## 前文：信仰奨励章設定の意図

教育規定の一般原則「本連盟は、加盟員がそれぞれの明確な信仰を持つことを奨励する」に基づき、宗教章は設定されています。しかし、宗教章への取り組みは、教宗派を育成団体とする団のスカウトや、富士章を目指すベンチャー等、一部のスカウトに限られています。また、富士章を目指すベンチャーの多くは、ベンチャー年代になってから取り組みを始めるために、宗教章を取得することが目的となっているように見受けられます。

教育規定に示されている「明確な信仰を持つ」ことは、自分が信ずる宗教をはっきりさせるという意味合いに取れます。しかし、日本では宗教と信仰という言葉の意味合いに少し違いがあるのかもしれません。

世界に目を向けると、宗教と信仰はほぼ同じ意味で捉えられていることが多いのです。なぜなら、宗教を信ずる文化が整っていることが多く、宗教の教えを基準とした生活が成り立つからで、創始者B・Pの文献も最初から宗教ありきで示されています。

一方、日本では、宗教とは「一定の神仏が明確であり、その教えに則って生活をしていく」とこととされます。そして、信仰とは「明確に信ずる神仏は特定していませんが、神仏もしくは目には見えない創造主によって作られた自然から与えられる恩恵によって人は生かされているということを知る」とこととされます。

このことから、信仰心が高まっていくことで、神仏や創造主の存在が明確になり、やがて自分にとって相応しい神仏に出会い、信じていく心と行動が伴ってきます。このことこそが宗教との出会いです。

このような、自然なプロセスを経た宗教との出会いへの導きこそが、信仰奨励章の設定に込められた願いなのです。

## 1. 信仰奨励章取得への取り組み

信仰奨励章は特定の教宗派について取り扱うものではありません。

教育規定の1-22 一般原則に「スカウトは加盟員各自の信仰心を高揚するために行

われ、それはちかいとおきての実践をより深めるものである」とあるように、ちかいとおきての実践をより深めるために、日常とスカウト活動を通じて、スカウトの信仰心への導きを行うことを促すものです。

このようなことから、信仰奨励章は宗教章の前段階と位置づけ、また専門的知識を必要とせず、日頃からスカウトと接する機会が多い、該当部門の隊長が認証します。そのためにも、成人指導者自らが、率先して同じように実践する必要性があり、実践すればするほど、信仰奨励章の意味するところを明確にすることができるのです。

よって、信仰奨励章の意味するところを踏まえると、宗教章に挑戦する以前に取得することが望ましく、また継続した取り組みとしていくためにも、初級スカウト以上から取得できるようにしました。早い段階から取り組みを始め、できるだけ多くのスカウトが取得できることを期待しています。

## 2. 支援のポイントとねらい

取得課目のねらいは、スカウトの取り組みから始まり、実践的な内容へと繋げ、最終的には明確な宗教に触れるところまでを構成していますので、番号順に取り組むことが望ましいと考えられます。

取得課目の2～4は、スカウトを中心に取り上げています。

2. 隊集会やキャンピング・ハイキングでスカウトに参加する。
3. スカウトで、自分ができる役割を果たし、ちかいとおきてを日常で実践したこと、感じたことを発表する。
4. 隊集会やキャンピング・ハイキングでのスカウトで主要な役割を果たす。

### ～支援のポイント～

- ・スカウトについては、隊長が主宰するものとし、5回程度の参加の実績をもって認定する。
- ・実践したことや感じたことの発表内容は、隊

長だけではなく、班や隊の仲間にも、認めてもらう。

・スカウトの場面や役割（司会・進行役等）については、隊長と相談しながら進める。

### ① 「スカウトと信仰心」の繋がり

創始者B・Pは、「神（仏）を信じ、そのおきてに従わない人は決して良い人と言えない。したがって、すべてのスカウトは信仰を持つべきである」と説いています。

また、神（仏）の望んでいることである「無私の善意と協力の精神」の意味するところとは何か、またその目的は何か、を追求するためには、信仰心を持つことが必要であるとしています。

さらに「信仰心」については、大自然に接すること、「無私の善意と協力の精神」を日日の実践として行うことによって培われ、それは、スカウト活動をしている時に留まらず、日常生活の中で実践することが必要であると説いています。

実践内容は、「おきて」によって示されていますが、この「おきて」に対する想いは、信仰心によって捉え方が違ってきますので、信仰心が高まったばかり、実践内容や実践に対する想いも深まっていくのです。

### 【参考①：バーデン・パウエル の言葉】

「自然研究の目的は、創造主である神を実感させる心を発達させ、自然の美しさが判るような感覚を注入することである」

（ガムカ日本連盟発行「B・Pのことば」より）

「この運動における我々の目的は、地球上に神の国をもたらすことができるように、若い人たちの生活の中に無私の善意と協力の精神。そして、それらを日々の実践として教え込むものである」

（1926.7.2 スカウト・ガイズ・メソッド委員会より）

（次号へつづく）

今回は、スカウトとその信仰奨励章挑戦に合わせた実施方法について説明します。

日本連盟プログラム委員会  
宗教関係代表者会議



# INFORMATION

MAY  
2007

## 日本連盟からのお知らせ

### ■3月教育本部常任会議の開催(報告)

日時: 3月11日(日)13:00~16:40  
場所: 東京・ボーイスカウト会館  
出席: 篠田教育本部副コミッショナー他9人、  
参席2人  
協議事項: 1. ブロック枠選出教育本部委員選任について  
2. 平成18年度事業報告書の作成について  
3. 平成19年度ユースフォーラムについて  
4. 平成17・18年度教育本部諸会議の運営評価について  
5. 平成19年度事業ごとの実施計画について

### ■23WSJ日本招致委員会

#### 国内支援部会(第3回)の開催(報告)

日時: 3月12日(月)13:00~15:30  
場所: 東京・中央区佃区民館  
出席: 上島部会長他2人、参席1人  
協議事項: 1. 支援確保と資金調達について  
2. 今後の進め方について 他

### ■評議員会(第3回)の開催(報告)

日時: 3月15日(木)14:00~16:50  
場所: 東京・国立競技場  
出席: 評議員56人、参席7人  
協議事項: 1. 平成19年度事業計画(案)について  
2. 平成19年度収支予算(案)について  
3. 23WSJ日本招致に関わる予算について  
4. 23WSJ会場候補地選定について  
5. 理事の追加・選任について  
6. 中央名誉会議議員の選任について

### ■世界スカウト運動100周年記念

#### 平成19年度全国大会実行委員会(第6回)の開催(報告)

日時: 3月19日(月)14:00~16:30  
場所: 東京・日本工業倶楽部  
出席: 橋本委員長他4人、参席1人  
協議事項: 1. 前回(第5回)委員会記録の確認について  
2. 全国大会の実施内容の具体化について  
3. 記念レセプションの実施概要について  
4. 来賓について  
5. 今後の準備スケジュールについて 他

### ■ボーイスカウト日本連盟 子どもの居場所づくり運営協議会(第5回)の開催(報告)

日時: 3月21日(水・祝)11:00~16:00  
場所: 東京・こんぴら会館  
出席: 鈴木国夫会長他15人  
協議事項: 1. 平成18年度実行委員会の事業実績について  
2. 子どもの居場所づくり3か年事業評価について  
3. 平成19年度以降の取り組みについて  
4. 平成18年度運営協議会各種部会の報告について  
5. 平成19年度全国大会おける展示活動について

ボーイスカウト日本連盟子ども居場所づくり運営協議会は、3か年事業として平成16年度より文部科学省から委託された「地域教育力再生プラン地域子ども教室推進事業」の実施運営のために組織された協議会で、その事業の一環として、「地域子ども教室」の運営を行いました。

この第5回運営協議会をもって、3年間の事業の幕を閉じました。

これまでに、各地域で、「地域子ども教室」を開催し、たくさん子どもたちに居場所を提供し、地域社会に貢献することができました。また、ボーイスカウトのPR用にDVD「ボーイスカウト日本連盟 キッズコミュニティ 子どもの居場所づくりシンポジウムダイジェスト版」を作製し、野外で遊べる教材(5種類)の開発も行いました。

3年間の評価として、委員から最も多かった意見は、「この居場所事業を行うことによって指導者の意識の変化が大きかった」ということでした。

### ■トレーニング委員会(第4回)の開催(報告)

日時: 3月24日(土)14:00~25日(日)11:00  
場所: 宮城・大観荘  
出席: 戸部委員長他4人  
協議事項: 1. 平成19年度全国大会テーマ別集会の実施内容について  
2. 平成18年度事業実施の反省と評価について  
3. 平成19年度指導者養成関係事業実施計画について  
4. 新規タスクチームの編成について  
5. 平成19年度県連盟開設訓練コースについて

### ■中央名誉会議(第2回)の開催(報告)

日時: 3月25日(日)12:00~17:00  
場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター  
出席: 鈴木中央名誉会議議長他11人  
協議事項: 1. 審査基準の修正について  
2. 平成19年度表彰審査  
3. 平成19年度全国大会表彰式の進め方について  
4. 都道府県スカウティング褒章について

### ■理事会(第3回)の開催

日時: 3月28日(水)14:00~17:00  
場所: 東京・尚友会館

出席: 橋本理事長他理事15人、監事1人、参席2人

協議事項: 1. 平成19年度事業計画(案)について  
2. 平成19年度収支予算(案)について  
3. 23WSJ日本招致に関わる予算について  
4. 23WSJ会場候補地選定について  
5. 中央名誉会議議員の選任について  
6. 日本連盟の人事について  
7. 評議員の交替について

### ■21WSJ第2回派遣団長会議への出席

期間: 3月30日(金)~4月2日(月)  
場所: イギリス連盟本部  
出席: 檀上団長、中野・村瀬副団長他事務局3人  
主な議題: 大会準備状況について/大会プログラム・ワールドビレッジ・ワールドスカウトセンターについて/メディアサポートについて/輸送について/食料について 等  
その他、スコットランド地方でのホームステイ打ち合わせや、世界スカウト事務局、ヨーロッパ地域事務局、カンデルスティッヒ国際スカウトセンター訪問を行いました。

### ■4月教育本部常任会議の開催(報告)

日時: 4月7日(土)14:00~8日(日)11:30  
場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター  
出席: 井上教育本部コミッショナー他9人  
協議事項: 1. 平成19年度教育本部の基本方針について  
2. 教育本部各会議の運営について  
3. 平成19年度事業の実施計画について  
4. 各委員会の事業計画推進方法について

## 今月の会議・行事

- 1 (火)~6 (日)  
WB 実修所 CS 課程第142期  
愛知・新城吉川野営場
- 1 (火)~6 (日)  
WB 実修所 V S 課程第16期  
兵庫・神戸市立洞川教育キャンプ場
- 12 (土)~13 (日)  
常設委員会 東京・ボーイスカウト会館
- 13 (日)  
教育本部会議  
東京・ボーイスカウト会館
- 15 (火)  
23WSJ日本招致委員会国内支援部会 東京都内
- 17 (木)  
評議員会 東京・NYC
- 22 (火)  
理事会 東京・尚友会館
- 25 (金)~27 (日)  
全国大会 東京・NYC



ご支援ありがとうございます

\*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援した  
 だいたい個人・法人会員の方々です。

2007年度2月度

|   |   |
|---|---|
| <b>【北海道】</b><br>BS留辺 藤 大 造<br>B S 留 辺 菫 2 佐 藤 吉 雄 | <b>【大阪】</b><br>本 多 至 成<br>豊 中カトリック<br>スカウト育成会 |
| <b>【青森】</b><br>音 喜 多 平 男 丸 山 光 雄<br>渡 辺 研 二       | <b>【鳥取】</b><br>膳 師 功<br>【高根】<br>高 嶋 壯 司       |
| <b>【岩手】</b><br>平 岡 忠 雄 朝 日 酒 造 (株)<br>菊 水 酒 造 (株) | <b>【島根】</b><br>河 角 隆 治                        |
| <b>【宮城】</b><br>清 水 誠 勝 【石川】<br>高 嶋 壯 司            | <b>【岡山】</b><br>板 野 元 次                        |
| <b>【安達】</b><br>清 守 濱 本 茂 樹<br>水 野 四 郎             | <b>【広島】</b><br>善 法 計 一                        |
| <b>【佐藤】</b><br>友 秀 【長野】<br>中 沢 裕 昌                | <b>【山口】</b><br>高 川 常 慶                        |
| <b>【秋田】</b><br>秋 田 スカウト クラブ 鈴 木 政 行<br>中 川 弘 一    | <b>【香川】</b><br>吉 田 侑 照<br>吉 田 和 頼             |
| <b>【福島】</b><br>江 尻 陽 二 郎 林 一 男                    | <b>【徳島】</b><br>吉 田 往 嗣<br>小 池 千 恵 子           |
| <b>【茨城】</b><br>武 田 秀 夫 (株)イーアンドシー<br>堀 屋 節 次      | <b>【福岡】</b><br>團 山 正 也<br>栗 原 征 生             |
| <b>【栃木】</b><br>斎 藤 幸 男 【静岡】<br>静 岡 鉄 道 (株)        | <b>【佐賀】</b><br>梅 田 英 二                        |
| <b>【群馬】</b><br>江 原 一 郎 牧 野 聖 修<br>須 藤 秀 忠         | <b>【長崎】</b><br>堀 本 進                          |
| <b>【埼玉】</b><br>中 島 正 寛 (株)エフ・シー・エス<br>篠 原 太       | <b>【宮崎】</b><br>長 友 祐 一 郎                      |
| <b>【千葉】</b><br>小 川 清 武 【愛知】<br>BS尾張中地区            | <b>【日本】</b><br>松 下 電 器 産 業 (株)                |
| <b>【東京】</b><br>伊 藤 岩 男 【滋賀】<br>山 本 健 二            | <b>【奈良】</b><br>竹 内 康 人                        |
| B S 品 川 1 林 博                                     | <b>【和歌山】</b><br>安 藤 重 幸                       |
| B S 品 川 2 島 田 美 子                                 | 小 坂 俊 幸                                       |
| B S 品 川 6 笹 井 武                                   |   |
| B S 品 川 8 笹 井 武                                   |   |
| B S 品 川 9 【京都】<br>長 友 祐 一 郎                       |   |
| B S 品 川 10 篠 田 常 生                                |   |
| B S 品 川 11 【奈良】<br>松 下 電 器 産 業 (株)                |   |
| 佐 藤 武 信 嵯 峨 英 昭                                   |   |
| 岡 村 賢 【和歌山】<br>安 藤 重 幸                            |   |
| <b>【新潟】</b><br>山 本 一 郎                            |   |
| 斎 藤 公 一 辻 節 子                                     |   |
| 新 保 正 妹 背 佳 実                                     |   |
| 石 本 金 属 (株) 宮 本 昌 幸                               |   |

**ローカルホットライン**

**HOT CALINE**

..... 団  
 ..... 地区  
 ..... 都道府県連盟  
 ..... その他

行事報告  
活動報告  
...etc

団・地区・都道府県連盟だより

**福島**

◇世界が祝う「スカウト運動100周年」切手  
 福島第71団 国馬 善郎

去る3月中旬、社会教育団体の会合で上京し、久方ぶりに時間をつくり目白の日本郵趣協会に出かけてきました。日本スカウト切手協会(佐藤一郎会長、茨城)の会員として長年の活動をしてスカウト切手を収集して楽しんでいますが、地方住まいのため最近では資金的余裕

もなく遠のいていましたが、会館で驚いたことは「ヨーロッパ切手」のトピカル収集の本年度ビッグテーマは「スカウト運動100周年」であり、50か国以上の国や地域から多数の切手が発行されること、また、世界各地でも呼応して発行される予定だということです。人気のスカウト切手は、コスト高ではありますが、少なくとも数枚は記念にしたいものです。

世界の切手からB・Pの肖像、各国の記事、服装、スカウト活動などと、いろいろなことが学べます。案外と安く求められる、沖縄を含めた日本スカウト切手を求めるとよいでしょう。眺めるだけでも楽しいです。一生に一度あるかないかの記念すべき100周年記念切手であるので切手マニアに加えて、多くのスカウト関係者からも期待されています。来る5月25日から27日までの3日間、国立オリンピック記念青少年総合センターの、日本連盟主催の「平成19年度全国大会」に、全国各地から多くのスカウト関係者や青少年団体の仲間も集うことでしょう。スカウト切手コーナーもあります。できれば目白の日本郵趣会館にも、仲間と一緒に足を伸ばしてください。きっと、楽しいですよ。

**2007年「ヨーロッパ」切手頒布会**

2007年のテーマ「スカウト運動100周年」

新報会員募集

スカウト運動100周年記念切手頒布会

2007年4月20日(土) 10:00～12:00

会場: 日本郵趣会館(東京都目黒区) 1階大会場

参加費: 500円(送料別)

申込先: 日本郵趣会館 企画課

電話: 03-3498-1111

Web: www.jpsa.or.jp

**富山**

◇新聞に載りました  
 魚津第2団 団委員長 平内 幸典

能登半島地震  
 で街頭募金  
 魚津の日本ボーイス  
 カウト連盟魚津第2団  
 (平内幸典委員長)は  
 一日、同市のアップルビ  
 ルと魚津サンクラブ前  
 で能登半島地震災害義援金  
 の街頭募金を行い、買物  
 客に協力を呼びかけた。

被災地のため何かし  
 うと募金活動を決めた。  
 ボーイ隊、カブ隊、ビー  
 隊も参加した。

約1時間おきに、約  
 三十分は二班に分れ、  
 街頭募金を呼びかけ、  
 約1000円を募りました。

平内委員長と副委員長  
 は、街頭募金活動に  
 参加したメンバーと  
 一緒に、街頭募金活  
 動の様子を撮影し、  
 新聞に掲載されました。

富山新聞(2007.4.2)

な声で感謝した。

**神奈川**

◇発団30周年式典  
 「イヤーサカ、イヤーサカ…」と会場いっぱい響きわたり  
 鎌倉第2団 団委員長 岩下 英美

1976年に有志の手で結団された緑多い十二所を基地として様々な活動をしてきた団として、鎌倉第2団が発団30周年を迎えました。

11月23日に鎌倉市長はじめ、発団当初携わったOB、OGなどが一堂に会し盛大な式典を行われました。

発団当時のお話や運営を支えてくださった「母の会」の皆様のお話を聞き、あらためて30周年の節目に団の発展と飛躍を誓いました。

スカウトたちもボーイ隊のジャンボリーなどの話、スライドなどを見て「あこがれのジャンボリー」への夢が広がりました。

手作りではありませんでしたが、楽しくまた30年の重みを感じる良い式典となりました。





岡山

新聞に載りました

浅口第1団



浅口市のボーイスカウト浅口第1団とガールスカウト岡山第1団の創立60周年を記念し、広島県福山市から浅口市内まで

ボーイスカウト浅口第1団

創立60周年を記念し  
60キロリレーハイク

ガールスカウト岡山第1団

の60キロを歩くとリレーハイクが10日始まった。初日はボーイスカウト8人が、福山市神辺町下御領の井原鉄道御領駅を出発し、総社市まで40キロを歩いた。11日はガールスカウトも加わり、約60人が終点の浅口市の金光教本部を目指す。ボーイスカウトたちは午前7時41分、御領駅前をスタート。団員はうっすら汗をかきながら、ボイスカウト日本連盟歌「花は薫るよ」の詞をつづった作詞家葛原しげる



地少年少女会は、十一の同日、創立六十周年を

子どもら60キロリレーハイク 浅口の80人参加 浅口地域のボーイスカウトやガールスカウトの会員らでつくる金光教本部

の旧宅などを経て「写真」総社へ向かった。リーダーの金光中3年福場和雄君15は「昔の人たちのがんばりで今があるのだから、僕たちも60キロを歩くと誓った」。

朝日新聞 (2007.2.11)

記念し「60キロリレーハイク」を行った。小学生から高校生までの会員や保護者約八十人が参加。十日に福山市内を約四十キロ歩いた後、十一日に金光教本部(浅口市(総社市)中)からゴールの金光教本部(浅口市金光町大谷)を目指した。子どもたちは仲間と励まし合いながら、約二十五キロを元気に歩いていた。金光中二年坂根隆志君(まは)「みんな協力して歩いて、一層きずなが深まった」と話していた。(鈴木麻美)

終点の金光教本部は、日本にボーイスカウト運動が入ってきた大正末期から運動を支援。両団は「霊地少年少女会」と名付けられ、1947年2月11日に創立した。

山陽新聞 (2007.2.14)

香川

新聞に載りました

香川県連盟東地区 地区委員長 村上 清宣

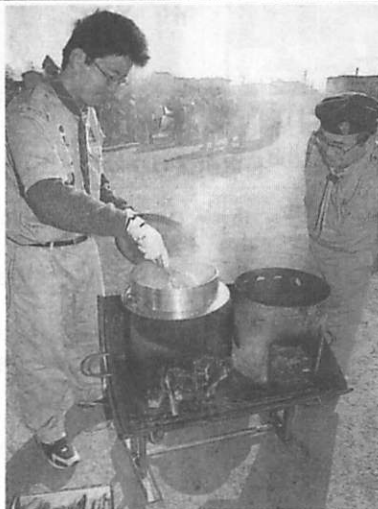
高松・一宮地区で防災訓練

東南海・南海地震を想定した地区住民総出の防災訓練が14日、高松市の一宮地区であった。住民は徒歩で避難した後、倒壊家屋のがれきを使った炊き出しを体験。バケツリレーによる消火や簡易担架での負傷者の救護訓練も行い、地域の自主防災力の向上を誓い合った。

訓練は、一宮地区連合自治会(三笠輝彦会長)が自主防災意識の向上を目的に初めて実施。地区住民約千人が参加した。訓練は「震度6弱の地震があり、建物の倒壊や火災が発生」との想定でスタート。住民は、道路の陥没や建物の倒壊で車が利用できないことを前提に、自治会ごとにまとまって徒歩で指定された公園まで避難した。避難後は、地震直後にはガスや電気が使用できない状況を想定し、倒壊

廃材で炊き出しも

訓練は、一宮地区連合自治会(三笠輝彦会長)が自主防災意識の向上を目的に初めて実施。地区住民約千人が参加した。訓練は「震度6弱の地震があり、建物の倒壊や火災が発生」との想定でスタート。住民は、道路の陥没や建物の倒壊で車が利用できないことを前提に、自治会ごとにまとまって徒歩で指定された公園まで避難した。避難後は、地震直後にはガスや電気が使用できない状況を想定し、倒壊



倒壊家屋のがれきを使った炊飯の方法を指導するボーイスカウトの団員＝高松市一宮町

豪雨・高潮の災害を契機に、また、東南海地震を視野に入れた防災ボランティアの組織化が進んでいます。我が東地区はその協議会に名を連ねています。今回、活動の一環として少人数でしたがピエールも兼ねて参加しました。炊き出しを担当。ほとんどの人が薪で炊飯する経験がなく、救急法・搬送・伝令等、スカウト活動の中で身につけたものが、被災者救済に本当に役立つことを再認識しました。

四国新聞 (2007.1.14)

住民1000人が連携

立てた廃材でご飯を炊く方法を学んだ。また、阪神大震災では地域住民が負傷者の救出に力を発揮したことを教訓に、バケツリレーでの消火を体験。毛布を使った簡易担架での負傷者の搬送訓練も行い、住民同士の連携を深めた。

新潟

長岡地区B-P祭

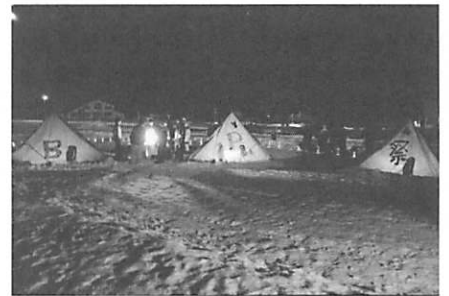
小千谷第1団 ボーイ隊副長 宮崎 育子

ボーイスカウト新潟連盟長岡地区協議会はベーデン・パウエル卿の生誕とスカウト運動創始100周年を記念して、2月3日、4日に、南魚沼市五日町スキー場で、長岡地区B-P祭を開催しました。

2月3日(土)午後7時半、会場に集まったスカウトは、長岡第1・3・10団、小千谷第1団、十日町第1団のカブ、ボーイ、ベンチャー、およびリーダー159人。セレモニーでは「世界の総長」を歌い、B-Pの功績に想いを馳せました。

その後は、雪を利用して設置したブルーシートのテントの中に照明をともして、雪原に数々の影絵を作りました。この影絵は、各団が趣向を凝らしたもので、中にはリーダーがB-Pその人に扮したものもありました。また、スタンツではアンノンスカウトの劇が行われました。セレモニー後は、それぞれの団で飲み物や軽食を出すB-P茶屋で親睦を深めました。

翌日午前中はスキーを楽しみ、午後1時から合同の雪上ゲームの後、閉会式を行いました。影絵製作等を通じて、各スカウトがB-Pについて、より認識を深めた活動でした。



## 大阪

### □『出前集会』実施中

島本第1団 副団委員長 坂東 俊枝

全国的な少子化の中、島本第1団も毎年の登録人数減に頭をいためています。あの手この手で模索中というところ。今回は、いろいろな試みの中、各小学校からの要請に応じてのプログラム展開をちょっとご紹介しようかなと思います。

島本町では、第1～第4までの4つの小学校がありますが、昨年は第1、第2…今年度は第2、第3…で、ボーイスカウトへの協力要請があり、小学校へ入り込めるこんないいチャンスを見逃す手はないな…としっかり要請に応じて『出前集会』をしています。最近2つの小学校で行ったプログラムとその様子をお知らせいたします。年1～2回、実施日は土曜日、各公立小学校では、土曜日の休日に学校という施設を開放して、地域の団体に協力を求めて、休日の子どもの居場所を作ってやるという試みを、各学校競うように行っています。つまり、地域の人々の子育て支援ということです。参加者は、だいたい小学校低学年の親子、まだ野球もサッカーもラグビーも空手にも入っていない子どもたちが、よく参加しています。30～40人を集めての実施です。

今回はボーイスカウトでよくやっているゲームを中心に、参加した子どもたちや保護者の皆様に楽しんでもらうという趣旨で提案しました。そこで、みんなで詰めたプログラムテーマが「宝島大作戦!」。大きな役割を演じてくれるのが、BSのスカウトたち。今回は海賊の親分役で、全面的に協力してくれました。

写真に見えるような海賊に扮したスカウトが、総合司会から、ゲームの案内から、各ゲームの実施要員まで動めてくれます。小中学生とは思えないようなしっかりとした口調で、進めていってくれます。

BSスカウト「やあ、みんな。僕は実はみんなと同じ三小の生徒やっせん。昨日まではな。でも、みてみ、今日の学校なんか違うと思わへんかあ?実はな、ここだけの話やけどな、昨日の夜のうちに、学校に魔法がかけられてな。宝島になってもうせん。…そいでな、僕もこんな格好にさせられてもてん…」

(ふうむ、つかみはOKだ〜) 参加した多くの子どもたちをぐいぐい引き込む語り口調は、彼(加藤創平BS隊員=小6)の天性のものもあるでしょうが、BSの隊集会で培われたものも多に違いないと、一緒に参加している団委員長は納得したのでした。

8つのポイントで行われたゲームは、すべて宝島にちなんだものです。「武器を手に入れろ」「狩りに行くぞ」「魚をつろう」「秘密のマークをつくろう」「いぬむりおじさんから食料をゲットせよ」…などなど。クラフトの要素から自然観察の要素に至るまで、様々な趣向をこらした

8つのポイントをクリアすれば、1枚ずつのヒントカードがもらえます。それを組み合わせるとある文字が…。それを頼りに海賊の親分を捜すと、おやつや特大どんぐりがもらえるという宝探し!

参加者は走り回りながら、目を輝かせながら、面白いことに大人の皆さんも不思議と子ども以上の目の煌めきでゲームに参加し走り回っていらっやいました。最後にみんなに伝えたかったこと…本物の宝物ってなんだろう。お金を出せば買える立派な釣り竿でも、立派なおもちゃでもないんじゃないかなってこと。「大事なことは無から生み出す知恵と工夫」…『自分の頭と手足があればできる工夫』…そんなもののすばらしさをわかってほしいなというのが結論。どこまで理解してもらったかは不明だけど。でもBS諸君の参加が、プログラムの「画龍点睛」となっていることは事実。BS諸君! 君たちに脱帽だ。

Thank You!



### ■カブスカウトが中国語作文コンクールで中国大使賞を受賞

日中交流研究所主催の第2回日本人の中国語作文コンクールで、神奈川連盟鎌倉第2団うさぎスカウトの安部京さんが最優秀賞(中国大使賞)を受賞しました。

学生の部91人の応募の中から最年少応募の安部さんが見事最優秀賞を受賞し、3月30日(金)に東京で行われた受賞式では、中国大使館の于淑媛総領事から賞状が授与されました。受賞者代表として挨拶し、「日曜日は、月に3回、日本ボーイスカウトの活動に参加しています。ボーイスカウトは全世界の活動です。将来、私はボーイスカウトの国際キャンプ大会で、中国語の通訳をしたいと思います。」と結びました。



### 〈お詫びと訂正〉

●本誌3月号18頁に掲載しました、山形県連盟の救急法講習会の記事に誤りがありました。大変失礼いたしました。訂正をお願いします。

(本文3行目)

(誤) 日本赤十字社の講師資格を持つ

(正) 救急法指導員の資格を持つ

●クラブスカウト2007春夏号22頁もくじ下の広報チームの電話番号に誤りがありました。

お詫びをし、訂正いたします。

(誤) 0422-32-5163

(正) 0422-31-5163



# 読者の「声」

## ～4月号の記事について～

### ●日本連盟の今年は「前進の年」

◇理事長のお考えが非常にナチュラルに述べられており、好感が持てます。

◇取り組もうとしていること、取り組んできたことがよくわかった。

◇各委員長の文を読んでいる中で就任当初は戸惑っているようで、軌道に乗りかけた時期に任期完了になっているようだ。2年の任期は短いではと感じさせられた。

◇中身はよいが、長すぎる。

◇幹部の方々の所属団の明記があるべきでは。役員自身が、自分の所属団を一定水準以上に維持していなければいかんと思います。

### ●隊活動のヒント

◇流木はいいですね。時々、多摩川の河原に行くと、ブーメランになる木がないか探しています。

◇「続き物」のプログラムとしてとても参考になる。ビーバーってこんな工作が楽しいんだよねー。

### ●活動自慢コンテスト作品紹介

◇子どもたちから子どもたちへ、スカウティングの面白さが直接伝わっていくのはすばらしいです。

◇こういった取り組みは、全国の自治体において、カタチが違ってもやりたいことですね。実施までの苦心談や、手順なども記されていると嬉しいですが。

### ●レター ～学ぶ機会～

◇今回の号で、一番読み応えがある記事です。きっと、生き生きとした活動を展開されているのでしょうね。

◇大変すばらしい貴重なご意見をいただきました。個人的に会っているいると教えていただきたいと思います。

◇私もスカウトたちから「学ぶ機会」を奪っているのかもしれない・・・すこく心に響いたフレーズです。

◇これはすばらしいです。こんな立派な隊長に指導してもらうスカウトは幸せです。現場の声は何ものにも替えがたいと思います。もっといろいろ紹介していただければ幸いです。

### ●信仰奨励章の制定あたって

◇富士のための必修というのではなく、普段の活動をおとして取得できるやり方がいいと思う。

◇ボーイスカウトと宗教は切り離せない関係にあり、これがあるからこそボーイスカウトといえる

のです。「で、何を具体的にやるの」というとわからないリーダーが多すぎます。このように具体的にやることを示すのは重要と思います。

### ●全国組織拡充セミナー開催報告

◇だから、各県連はなにをしる、各団はどうしる・・・増員の成功例はこうです・・・というような記事がセットでほしいです。

「スカウティング」誌の購読者は、現場での増員とか、キャンプで役立つヒントがほしいのではないのでしょうか。

### ●世界のスカウト人口

◇216と155がどんなにすごい数字か、FIFAやWHO、UNなどと比べてみるといいのでは？それにしても、インドネシアの数はどういうことなのでしょう。学校教育と一体化しているのでしょうか。

✍ アジア圏では学校がクラブ活動のようにスカウティングを取り入れている国が多いのです。

### ●団・地区・都道府県連盟だより

◇10泊キャンプ実施団の投稿には衝撃を受けた。10泊は無理としても長期キャンプの提案をする後押しになる。

◇長期キャンプの件で投稿がありました。先日の対談の延長として違う切り口で取り上げていって、「長期キャンプは大事だな」とみんなが思えるようになったら、それがたとえ実現しなくてもキャンプの意義が認識され、通常の活動の変化へと繋がるような気がします。

### ●その他フリートーク

◇今月は本誌では固いコメントが多くなっても、「クラブスカウト」があって救われましたね。

◇第21回世界スカウトジャンボリーの派遣に向け、日本派遣団はそれぞれの地域で準備と隊訓練を進められていると思います。その様子等、紹介されると、事前のムードも上がりますね！

## ～クラブスカウト春夏号について～

### ●新たな100年に向け前進！

◇いよいよ近づいてきたなーという感じがします。日本に世界ジャンボリーを呼びたい！

### ●ビーバー 世界の動物カードあそび

◇カラーコピーしてビーバーに渡してあげたい。喜ぶ顔が目に見えます。

◇習性と生息地の組み合わせなど、なかなか考えられている。カバの習性については、知らなかったです。勉強になりました。

### ●カブ 潮だまりや池の生き物採集

◇むかし潮溜まりで遊んでいて、蛸を捕まえたスカウトがいました。大きなアメフラシがいたり、

様々な海藻が見られたり、スカウトは大喜びでした。ですが、潮溜まりの活動は危険性も伴います。専門家に指導を頼むようなアドバイスもあると良かったですね。

◇図鑑でしか見たことのないものを実際に採集したり飼育して命の大切さや環境について考える機会になるといいですね。

### ●ボーイ パイオニアリングの楽しみ

◇ハイキングや飯盒炊さん、自然観察などと違って、ボーイスカウトならではのものです。これを取り上げたのは、良かったと思います。

### ●ベンチャー はじめて観る街や風景

◇生きている世界を驚きや感動の心で見ようという視点がよいと思います。スカウトが感じ取ってくればね！

◇自隊でも毎年実施しているが、本当にこういうキャンプ・小旅行は楽しい。

### ●コミック 再現ファーストキャンプ

◇貴重な4ページですが、それにふさわしく面白かったです。ユーモアもあるし、テーマも伝わっています。ポートに乗るときは、ちゃんとライフベストをしていますね。

◇こういう再現キャンプができれば本当がいいと思う。ぜひやってみたいと思うが実際は・・・。

### ●ボーイスカウトワールド

◇このページは未加入者用のものですね。加入問い合わせの保護者に読んでもらう冊子として利用します。

### ●読者プレゼント

◇もう少し低価格のものでいいのでたくさんのスカウトにプレゼントされることを望みます。

### ●裏表紙

◇私も10年ほどのスカウト在籍でしたが、本当に若い頃の体験と感動はいつまでも心に残るものです。ここの写真もなかなかいいですね。

### ●その他フリートーク

◇季節ごとに、4冊出せるようになるとういですがね。

### ■皆さんの声をお寄せください。

目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。✍

# 石川県連盟のスカウト関係者、ならびに被災者に向けた義援金募金にご協力ください。

## 災害義援金の趣旨

先日の大地震により石川県下で多くの方が被害に遭われ、その復旧にむけ懸命な作業が行われております。

当連盟でも、石川県連盟のスカウト関係者、ならびに被災者に向けた義援金の募集を行います。

これは被災地において救済活動にあたる石川県連盟のスカウト関係者を財政面から支援するために実施するものです。

また、併せて昨年第14回日本ジャンボリーの開催に際し、珠洲市をはじめとし近隣の関係市町村に多大のご協力をいただきましたことから、今回被害にあった地元の方々に対しても義援金を送りお見舞い申し上げたいと思います。

義援金の金額の多寡は問いませんので、趣旨にご理解、ご賛同の際は下記要領によりご支援くださいますようお願い申し上げます。送金いただきました義援金はとりまとめのうえ、同連盟宛にお送りさせていただきます。

## 内容

能登半島地震、救済活動にあたるスカウト関係者への義援金

## 送金先

郵便局もしくは下記の銀行口座にご送金ください。

### (1)郵便局から送金の場合

- ①全国各郵便局の窓口にある払込取扱票をご利用ください。
  - ②口座記号番号：00180-9-742518
  - ③加入者名：ビーエスニッポンレンメイ ノトハントウジシギエンキン  
BS日本連盟能登半島地震義援金
- ※払込料金は払込者負担をお願いいたします。(5)をご参照ください。

### (2)銀行から送金の場合

- ①銀行名：三菱東京UFJ銀行
  - ②支店名：三鷹支店(店番222)
  - ③口座種別：普通預金
  - ④口座番号：1611012
  - ⑤名義：ザイ) ボーイスカウトニッポンレンメイ ノトハントウジシギエンキン  
(財) ボーイスカウト日本連盟能登半島地震義援金
- ※振込手数料は、同様に振込者負担をお願いいたします。

### (3)送金者名の記入にあたって

義援金をお送りいただきました団や、個人につきましては、何らかの形で公表させていただきます。その際は払込者名欄に基づいて掲載いたします。  
銀行振込の場合はコンピュータ処理により表示字数に制限が生じますので、払込者名は18字以内をお願いいたします。

### (4)領収書の発行

郵便局が発行する「振替払込受領証」もしくは銀行の「振込金受取書」をもって領収書にかえさせていただきます。

### (5)参考(注：下記は、いずれも窓口利用の場合の料金の例です)

- ①郵便局 払込料金1万円以下の送金=100円  
1万円を超え10万円以下の送金=150円
- ②銀行振込手数料

|       | 三菱東京UFJ銀行<br>(送金先と同じ銀行) | その他の銀行から |
|-------|-------------------------|----------|
| 3万円未満 | 315円                    | 630円     |
| 3万円以上 | 525円                    | 840円     |

## 送金方法

個人、団、地区、県連盟等で任意にご送金ください。ご協力をお願いいたします。

## 実施期間

平成19年5月末日まで

## この件の連絡先

総務グループ TEL 0422-31-5161

## 投稿お待ちしております

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

たくさんの投稿をお待ちしています。

[宛先] 〒181-0015

東京都三鷹市大沢 4-11-10

財団法人ボーイスカウト日本連盟

広報チーム スカウティング投稿係

〈TEL〉 0422-31-5163

〈FAX〉 0422-31-5162

〈Eメール〉 pr@scout.or.jp



# SCOUTING

スカウティング

2007年5月号

No.648

## CONTENTS

- 第23回世界スカウトジャンボリーを日本へ!!  
2015年の日本招致会場は山口県きらら浜・P.2~4
- 平成19年度事業計画……………P.5~6
- 平成19年度・20年度日本連盟教育本部の構成……………P.7
- 平成19年度事業計画表……………P.8~9
- 能登半島地震 復興支援活動報告……………P.10
- 隊活動のヒント……………P.11
- 活動自慢コンテスト作品紹介……………P.12
- 全国ボーイスカウトゆかりの地探訪⑧……………P.13
- 信仰奨励章取得のための手引き -1- ……P.14
- おしらせ・読者のページ……………P.15~19
- スカウトショップニュース……………P.21
- 富士章受章おめでとう!!……………P.22~23

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟  
編集責任者 事務局長 金井昭二

住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢 4-11-10  
TEL 0422-31-5161  
FAX 0422-31-5162  
URL http://www.scout.or.jp/  
Eメール pr@scout.or.jp

■ ©財団法人ボーイスカウト日本連盟 / 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

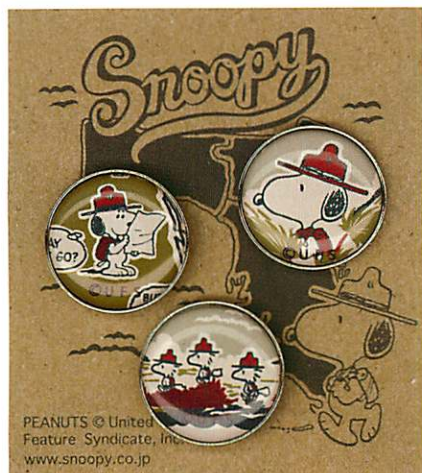
■ バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

■ 本誌は再生紙を使用しています。



# SCOUT SHOP NEWS

**ビーグルスカウトコレクションの登場！  
人気商品ですので、お早めにご注文願います。**



### スヌーピー・ピンバッジセット

品番・79931 ¥945  
3個入りのかわいいピンバッジ (サイズ: 各2cm)



### スヌーピー・キーホルダー

品番・79933 ¥525  
サイズ: 4 × 4cm 表ビーグルスカウト  
裏 Snoopy のロゴ入り



### スヌーピー・トートバッグ

品番・79937 ¥5,565  
サイズ: 29 × 47 × 15cm  
綿 100%帆布使用のすてきなトートバッグです。



### スヌーピー・バンダナ

品番・79935 ¥525  
サイズ: 42 × 42cm  
かわいいスヌーピーがいっぱいのバンダナです。



### スカウティング・ショルダーバッグ

品番・73051 ¥3,990  
サイズ: 30 × 36 × 11cm 素材: ポリエステル  
容量: 11ℓ 重量: 550g カラー: グリーン  
A4サイズの書類も楽々入り、サイドにはペットボトルが入るメッシュポケット付。バックパックにも使用可。

ボーイスカウトが  
目指すもの



ボーイスカウト運動 100 周年記念出版

山と溪谷社刊

## ボーイスカウトが目指すもの

イギリス・スカウト連盟編 財団法人ボーイスカウト日本連盟監修

原題は『An Official History of Scouting』。230点の豊富な未発表写真で構成されたボーイスカウト運動100年の歴史です。

A4変型ワイド判 天地 297 × 左右 222mm 上製ハードカバー 208頁 (うちカラー 192頁) 品番・65567 5,000円

表示価格は税込価格です。

#### ■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。  
[http://www.scout.or.jp/j/info/download/download\\_etc.html](http://www.scout.or.jp/j/info/download/download_etc.html)
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ【0422-31-5169 スカウト用品専用】でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

★スカウトカタログ2006 2007等の情報はインターネットでもご覧いただけます。

URL : <http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html>



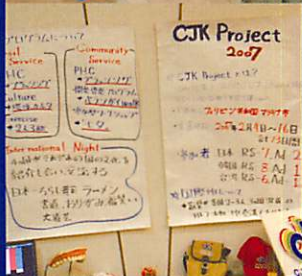
※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用いただけます。





# 富士章受章おめでとう!!

この春も富士章受章スカウト顕彰、代表スカウト表敬などの事業が行われました。全国から集まったスカウトたちが交流し、お互いにエールを贈りあい、そして皇太子殿下や内閣総理大臣、文部科学副大臣からそれぞれ激励の言葉を頂戴しました。



## ■富士章受章スカウト顕彰

3月24日(土)～25日(日)、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。32県連盟157人のスカウトが全国から集い、「未来への設計図」をテーマに富士OBの小栗宏次愛知県立大学教授(アジア太平洋地域スカウト委員)の基調講演の他、①富士代表表敬声明文作成チーム ②ギフト・フォー・ピース ③サンライズ・セレモニー ④富士プロジェクト紹介コーナーの4つに分かれての分科会等を行いました。

## ■富士章受章スカウト代表表敬

3月26日(月)には東宮御所を表敬訪問し、皇太子殿下から激励のお言葉を賜りました。また、ご列席いただいた中曽根弘文参議院議員(ボーイスカウト振興国会議員連盟副会長)、逢沢一郎衆議院議員(同副会長・事務総長)からもスカウト一人ひとりに激励の言葉をいただきました。

4月3日には首相官邸において安倍晋三内閣総理大臣を、文部科学省において池坊保子文部科学副大臣をそれぞれ表敬訪問し、激励の言葉をいただきました。首相官邸では、ご列席いただいた斉藤斗志二衆議院議員(ボーイスカウト振興国会議員連盟会長)、塩谷立衆議院議員(同事務局長)からもスカウトに励ましの言葉をいただきました。



## 平成18年度の富士章受章スカウト代表「決意の言葉」

私たちは今、名誉ある富士章を受章できたことに、喜びを感じています。そして、これまで支えてくれた家族はもちろん、指導者やスカウトの仲間たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。

これまでのボーイスカウト活動の中で、自然との付き合い方や、社会性を身につけ、信仰と様々な経験によって、より豊かな精神を養いました。

私たちはスカウト活動をしていく中で、心に決めていることがあります。それは「みんなで最高の笑顔を!」ということです。私たちスカウトだけが笑顔になるのではなく、地域のみならず、さらには世界のみならずを笑顔にしていくことで、世界に平和が広がると信じています。

また、私たちにとって富士章は、最終目標ではありません。今後もスカウトとして、技能、知識、心構えの一層の向上に励むとともに、スカウト活動で感じたことや学んだものを、後輩たちに伝えていきます。

最後に、スカウトとして一番大切なことは「ちかいとおきて」を実践することです。私たちは「ちかいと おきて」を胸に、多くのスカウト活動に貢献し、後輩の成長を見守りつつ、それらの経験を、自己実現のために生かしていきたいと思ひます。

そして、それぞれの未来に向かって羽ばたいていきます。



# 富士章受章スカウトに聞きました

富士章受章で誇らしい笑顔のスカウトたちに質問を投げてみました。

- ① 富士章取得までがんばって良かったと思うこと
- ② 最も印象的だった課目について
- ③ 全国の後輩スカウトにエールを
- ④ 自慢、自己PR
- ⑤ スカウト運動への愛を一言
- ⑥ 将来の夢



●宮城・石巻第2団 立野 智美  
 ①東北もつとがんばっちゃ!!  
 ②こんなにたくましく育ててくれてありがとうございます。



●茨城・北茨城第1団 滝 潤哉  
 ①アワード。自分で目的・目標を定めるので、成功した時の喜びが非常に大きく、印象に残っています。  
 ②いつもそこに笑みのあるスカウティングが大好きです。



●栃木・佐野第4団 尾崎 祐太  
 ①水泳県2位。  
 ②ボーイスカウトからは平和が生まれる。



●埼玉・上尾第9団 北林 秀彬  
 ①今つらくても、続けていれば、楽くなるさ。  
 ②一人でも多くの後輩にスカウティングのすばらしさを伝える。



●千葉・旭第1団 武田 郡  
 ①日々の努力を大切に頑張れ。  
 ②救急救命士。



●神奈川・川崎第54団 坂本 啓介  
 ①国際文化。世界ジャンボリーで多くの世界のスカウトと交流することができた。  
 ②富士章は誰もが取れる章です。負うことよく挑戦してください。



●東京・八王子第7団 吉野 竜馬  
 ①全国都道府県、友だちがいない県がない。  
 ②一人でも多くの人を笑顔にさせたい。



●福井・福井第7団 堀 拓也  
 ①全国のスカウトと友だちになったこと。  
 ②総合医。



●長野・長野第1団 吉澤 慎二郎  
 ①いろいろな人たちと出会えたことが何よりも大切なことだと思います。  
 ②気分屋な自分だったけど、富士に関しては本気になった!!



●静岡・静岡第35団 松村 悠佑  
 ①できるかできないかではない、やるかやらないかだ。  
 ②生活の一部、自分の一部、世界中すべての人のための手引き。



●愛知・名古屋第91団 勝田 洋光  
 ①屋久島でのキャンプ。屋久島の自然と直に触れ、スカウトとして自然とどう向き合い対応していくべきかを学んだ。  
 ②どんな年代の子ともテンションを同じに保てること。人と話をすれば3日3晩話しつづけることができる。



●京都・京都第25団 木下 博貴  
 ①努力することを覚えた。友情って大事だなんて実感した。  
 ②やる気があれば必ず富士がとれる!!がんばれ~!



●兵庫・神戸第54団 中井 貴章  
 ①僕の喘息を治したのはスカウト活動だ!!  
 ②自団の隊長?大きく出すぎたか...。普通に夢をいえば、声優ですが...



●奈良・香芝第1団 島田 雄樹  
 ①宗教章の取得。普段、それまでは全くといっていいほど気にとめていなかった仏教の世界観、教えに触れることができた。  
 ②ちがいとおきては実践してこそ!



●大阪・島本第1団 岡藤 拓也  
 ①人の優しさを肌で感じられたこと。  
 ②富士章を受章してからしか見えてこない景色があるので頑張ってほしい。



●岡山・岡山第26団 安東 侑香  
 ①多くのスカウト仲間に出逢えたこと。話をすることで新しい世界観が広がった。  
 ②富士章を受章してからは長い道のりだけど、あきらめず、あげずしにっかり目標を自分の手中に取め、ステキなスカウトになってください。



●広島・安佐第6団 水口 裕登  
 ①ギフト・フォー・ピースで「平和の輪」を、8月6日に平和記念公園でつくったこと。  
 ②死んでもスカウトはやめません。



●愛媛・新居浜第2団 宮下 瑛一  
 ①人生のプログラムの立て方を学んだ。  
 ②企業家、社会的貢献人間。



●福岡・福岡第35団 豊島 諭  
 ①富士章を取得することだけがベンチャー活動ではないぞ!プロジェクトをとおして友だちをたくさん作り、地区に積極的に出動していただきたい!  
 ②福岡西地区最強宣言!!



●長崎・佐世保第9団 森 登茂樹  
 ①とにかく野外活動が好き。  
 ②福祉の仕事に就く。



●沖縄・那覇第1団 美里 将太  
 ①両親や友人だけではなく、すべての人に祝福されて、改めてみんなに支えられていると感じたこと。  
 ②三線やっています。



世界スカウト運動創始100周年記念事業

# ステップアップ100運動 第3年度もがんばろう!



世界スカウト運動創始100周年記念事業  
第45回西宮地区キャンボリー

平成19年3月18日(日) 甲山森林公園野外ステージ甲山・北山の全域をブラウンシー島に見立てたポイントハイクほか、  
100周年にちなんだプログラムを展開した地区キャンボリーの集合写真。  
西宮第1団、2団、3団、6団、7団、9団、10団、11団、20団、22団、25団、27団の計12団のボーイ隊から30こ班が参加。



2007年、世界スカウト運動創始100周年にあたる本年度は、  
平成17年度から各隊・団で取り組んできたステップアップ100運動の  
最終年になります。

18年度までに「STEP賞」を取得した隊・団は「JUMP賞」へ挑戦。  
「HOP賞」までの隊・団は「STEP賞」へ、初めての隊・団も「HOP  
賞」に挑戦できます。

詳しくは、日本連盟ホームページのから、「ステップアップ100運動  
第3年度フォローアップ要領」をダウンロードしてご覧ください。

<http://www.scout.or.jp/j/info/pr/100nen.html>

SCOUTING 2007/5 648

スカウトインザ  
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
平成19年5月1日発行 毎月1回1日発行

発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟  
編集責任者 事務局長 金井昭二  
〒181-0015 東京都三鷹市大塚4-11-10  
電話 0422(31)5161(代)

定価 ¥409 (税込)  
郵便振替 00110-1-82610  
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

4 931187 663251